資料3 ワークショップ結果

1. ワークショップ結果を受けた施策への展開

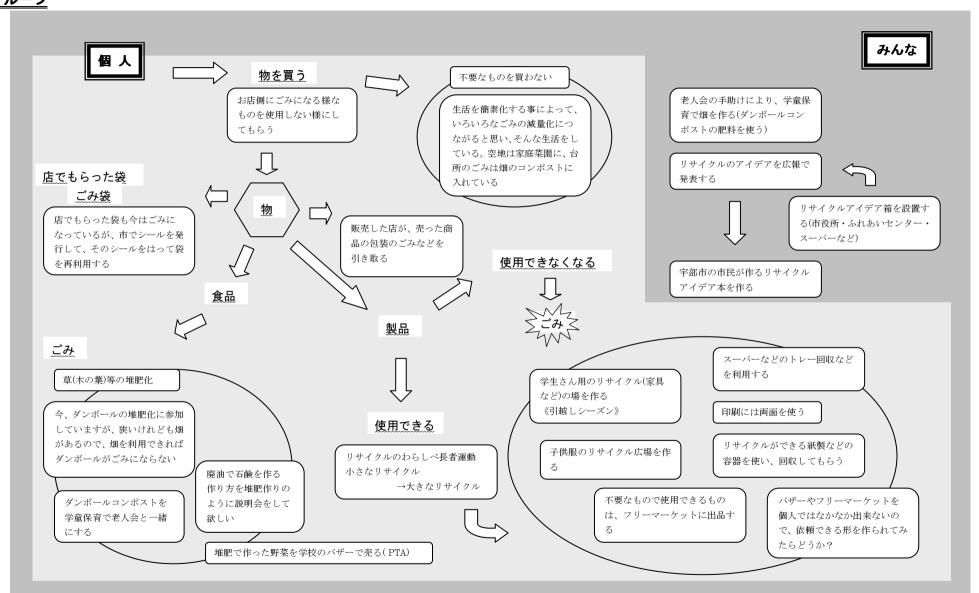
市民ワークショップを平成 22 年 10 月 1 日(1 回目テーマ: 『ごみ減量化を実現するためには何が必要か?』)、10 月 8 日(2 回目テーマ: 『ごみ減量のために自分自身では何ができるか、何をやってみたいか』)に実施しました。

本計画において、市民ワークショップの結果を基とし施策への展開を図りました。 ワークショップと施策の適合を表 3-1 に示します。

表 3-1 施策との適合

		ワークショップ1回目			ワークショップ2回目		
		Aグループ	Bグループ	Cグループ	Aグループ	Bグループ	Cグループ
1.	3Rの推進のための普及啓発・環境学習						
	①普及啓発		\circ		\circ	\circ	\circ
	②環境学習		\circ	\circ	\circ	\circ	\circ
2.	リデュース(排出抑制)						
	①段ボールコンポストの普及促進	0		0	0	0	0
	②生ごみの水切りの徹底		0	0	0	0	
	③ごみを出さない消費行動の促進	0	0	0	0	0	0
	④事業者へのごみ減量指導、協力要請						
	⑤事業者との協働によるごみ減量の推進						
	⑥ごみ処理有料化の検討						
3.	リユース(再使用)						
	①リユース食器の利用促進	0					
	②再生品の利用促進	0					
	③フリーマーケット等のイベント情報の発信	0		0	0		0
	④不要品等の再使用の促進	0		0	0	0	0
4.	リサイクル(再生利用)						
	①集団回収の推進				_		
	②家庭系廃食油のリサイクルの推進	0	0		0		
	③食品廃棄物のリサイクル						
	④剪定枝等のリサイクル	0	0	0			
	⑤雑紙のリサイクル		0				
	⑥布製品のリサイクル		0	0			
	⑦レアメタルのリサイクル						
	⑧スラグのリサイクル						
	⑨資源物の店頭回収の拡大				0	0	
	⑩事業系ごみのリサイクルネットワークの構築						
	⑪大学・企業と連携した技術開発						

ワークショップ1回目 『ごみ減量化を実現するためには何が必要か?』 Aグループ



ワークショップ1回目 『ごみ減量化を実現するためには何が必要か?』 <u>Bグループ</u>

そ 他 の リサイクル 環 境 学 習 生ごみの減量 ◆ 草取り後の草の処分 雑がみの分別 ◆ 環境教育(モラル・ルー ◆ 生ごみの水切りをしっか りとする。 ル) ◆ 雑がみの回収 ◆ 衣類のごみがどうなって ◆ ダンボールコンポストの いるか ◆ 行政が分別をきちんとP ◆ 日常における分別 Rする 普及 ◆ ナイロン袋や紙袋を有効 ◆ 集団回収の利用 ◆ ごみも年々種類が変化す に使用して捨てる事が出 ◆ 生ごみの堆肥化 来れば、その分ごみが減 るので、周知活動を…。 ◆ 贈答品の余りを処分する ◆ 生ごみの減量化 るのではないか。 ところをPRしてほしい ◆ 環境学習を広く市民に広 ◆ 廃油の回収 ◆ 無駄なごみを出さない。 めるアイデアがほしい。 ◆ エコクッキングにより材 ◆ 現在のごみ分別の〔さく 料を全て使う。 引〕を市民といっしょに 作り変える。 ◆ エコクッキングを浸透さ せて、生ごみを出さない。 ◆ 自治会で、分別説明会を もっとやる(役員でなく 住民相手のもの) ◆ 小学校のPTA等の家庭 教育学級で分別について 勉強をする。 ◆ センターでのまちづくり 学級(成人学級)でごみ について勉強する。

ワークショップ1回目 『ごみ減量化を実現するためには何が必要か?』 Cグループ

a

a

R

スリム化

- 過剰な包装を買った店 に引き取ってもらう。
- 環境に優しい商品の購入。
- ◆ 物を増やさない。

a

ぎゅっとしぼって

- ◆ 生ごみの水気をよく絞ることを、各自徹底するように気をつける。
- 単 草や植木など枯れさせて捨てる。

もっと何度でも

- ◆ 布製品の再利用の追求。
- ◆ 使えないものはバザー などで活用する。

試行錯誤

- ダンボールコンポスト の普及・宣伝。求めや すいように市民センタ ーなどにセットを置 く。
- ダンボールコンポスト の集団収集
- ↓ 生ごみの堆肥化に努める。

知りたい・学びたい

R

- 効率的によくやっておられる事例をもっと紹介。
- ↓ よくやっておられる所 へ見学に行き、紹介す る。
- ↓ 現状認識を正しくする ため、市広報等でもっ とPRを。
- ★ 不燃ごみの処理の仕方 の広報を徹底する。
- ↓ ごみ処理場の見学の機会をもっと増やす。

もっと情報を

a

a

a

- ↓ 紙パックは古紙回収へ。
- ◆ 月1回の古紙の日、雨の時は中止にしたら良い。
- ↓ リサイクルバザーの情報が少ない。
- ↓ 「あいうえお」別の仕分表は、とても良い。

<u>土に返す</u>

■ 剪定した庭木等の処理 は今のままでよいの か。

ワークショップ2回目 『ごみ減量のために自分自身では何ができるか、何をやってみたいか』 Aグループ

リデュース(減量)

買物

- ◆ 今、本当に必要かを考える
- これ以上太らない(服を買わずにすむ)
- ◆スーパーのレジで、肉・魚を入れる薄いポリ袋は「いりません」と断る
- 詰め替えができる洗剤等を使う
- ●電気製品の買い替え((小さめの冷蔵庫にしたら食品のムダ買いがなくなった)
- 生ごみをギューと搾って水気を切った後、 ごみをほぐし、紙に包んで捨てた方が燃え やすいと思う
- 手軽で安い物に手を出すより、ちょっと高 価な商品を買って、永く大切に使う
- 小袋に入れて帰ることをやめる

生ごみ

- 畑を作る(肥料はダンボールコンポスト)
- ダンボールコンポストで出来た堆肥を市 に持参された際は、基材となるピートモ スなど次の堆肥作製に必要となる物をお 渡しする

団体

• 大学の学祭でマイ箸、マイ食器

リユース(再使用)

- 使用しない家具などは、他の人に譲る
- 自分には不用でもそれを必要とされる 方もいるので、世話役の人に声掛けを お願いする
- 油汚れをキッチンペーパー等の代わり に古くなった衣類で拭き取る
- 下着やシーツなどを適当な大きさにカットし、レンジ周りなどを拭く
- 綿の古着や古タオルは、掃除用にする
- 地域の方々も参加できるフリーマーケットを大学で開催する
- 食品トレーを返す(持って帰るとごみになるが、その場でビニール袋に入れ替えてもらうと、お店で再利用できる)

_ リサイクル(再利用)

- 廃油をストックしておく(月に一度、 廃油回収日を設けてもらう)
- 廃油を利用した石鹸作り
- 廃油を市で回収して欲しい
- リサイクル可能な資源は、資源ごみ として回収
- リサイクルを行いやすい紙パックを 用いる
- ペットボトルやプラスチック容器などに入った商品よりも、紙製の容器に入ったものを購入する

【その他】

転入者の方の町費を集める際、宇部市 のごみ分別表をお渡しする ごみカレンダー作成を要望!

個人

- 食品にラップをかけて保存せず、タッパーなどに入れ替える
- マイ箸・マイコップ・マイタッパー

【意識向上】

ワークショップなどに参加、意見を交換し意識を向上させる 近所の方に宇部市のごみの現状を伝える

ごみの分別について学習する

こみ (プラごみ・粗ごみ) の当番をすることによって、仕分け方も分かり、自分が出すごみにも気を使うようになる

ワークショップ2回目 『ごみ減量のために自分自身では何ができるか、何をやってみたいか』 Bグループ

《 意識しましょう 》

- ◆ 日々の生活の中で物を大事 にすることを子供達に教え ていく
- ❖ ごみの分別に関っていると いう意識の向上を図る
- ◆ 燃やせるごみについては、 もっと皆を信じて、もっと ごみを出して燃やしても良 い(効率よく燃やす)

《情報の発信》

- ❖ リサイクルプラザ等で捨て られたものを再利用ではな く、捨てずに再利用する方 法を探す
- ❖ いらない物を知らせる情報 をインターネットを利用し なくても得られるようにし て欲しい

《繰り返し使おう》

- ◆ スーパー等のレジ袋をも う少し丈夫なものにして いただけると、ごみ袋に 利用できる
- ❖ リサイクルプラザ以外 (もっと身近な場所で) でも不用品・再生品の販 売等を行って欲しい
- ❖ 「捨てればごみ、集めれば ○○になる、」というような 物のリストを皆に知っても らい、活用してもらう
- ❖ 不用品の再活用を図る(不 用品活用銀行を開設)
- ❖ 放置自転車も再利用できれ ば、粗ごみではなくなる

《買物をする前に》

- ❖ 捨てる時の事を考えてから 購入する
- ◆ 無駄なものを買わない
- ❖ 一方的に送られてくる(必 要のない)通販カタログを 断る
- ❖ 使い捨ての物より詰め替え の商品を利用する
- ❖ ごみの量がなるべく少ない 商品を買う

なくする

- ❖ 賞味期限をこまめにチェ ックして、無駄にしない
- ❖ 人参等、業者が機械で洗 浄しているものは皮を剥 かず、そのまま調理する
- ❖ 料理を工夫し、ごみを少 ❖ 冷蔵庫に残っている食材名 (複数)を入力したら、それら を使ってできる料理名が表 示されれば、ごみの減量につ ながる

《有効利用》 8.....

- ◆ 生ごみの堆肥化(ダンボー ルコンポスト等)
- ❖ 生ごみの水切りをしっかり する
- ◆ 土地があるなら、自分の所 で出た草等はそのまますき 込んだり、積んだりなどし てごみにしない
- ❖ 自宅から出た草等は乾燥さ せて、燃やせるごみとして 出す

《 資源にしましょう 》

《無駄にしない》

- ❖ スーパーの店頭回収(トレー・牛乳パック等)を利用している
- ❖ ペットボトルのキャップを積極的に集めている

ワークショップ2回目 『ごみ減量のために自分自身では何ができるか、何をやってみたいか』 Cグループ

捨てるなんて もったいない!

- 再生できるものは何度でも使う
- 食材は残さず使う
- 買物は「必要にして十分」それ 以上に必要な最低限の量にする
- リサイクル商品の購入
- 布製品リサイクルの作品作りと バザー販売
- 不用品の持ち込み(届け)場所の 設置を
- リサイクルショップを上手に活用している人もいるようです
- 子供会の廃品回収も少子化で、 地区の人もあまり協力しないよ うです
- ▼ 交換市場のようなもの学生向・ 子供向 (HP でお互いのつなぎ役を)

- ごみの分別を守る
- 資源になるものはスーパーに持 ち込んでいます
- 広告のチラシの裏の白い面をメ モに使っています
- 戦中・戦後のモノの不自由な時 代を経験した者は「勿体ない」 と言って貯めてしまう
- 貯めて置かない早く再利用なり処分
- 「ものを大切にする」ということと早く処分活用することとの 是非を家中の者で話し合う
- もう着れない服はぞう布へ

生ゴミから堆肥へ…

- 生ごみは極力士に返すよ うにしたい
- ダンボールコンポストに 挑戦
- 籾殻燻炭の入手方法、一定 の場所でピートモスとセ ットにして分ける

┉ 教えあう

- 友人に紹介
- 友人達への広報
- 年代差が考え方の相違に なることも多いので、相互 理解の機会を作ることも 必要では
- みんなをまきこんで